

令和6年度

学 校 評 価 表

(中間評価 ・ 最終評価)

東広島市立板城小学校

学校教育目標	自ら学び よりよく生きようとする「板城っ子」の育成 自分が好き 友達が好き 学校が好き ふるさと板城が好き	経営理念	【ミッション】(自校の使命) 確かな学力と社会性を身に付け とともに伸びようとする人間力の育成 【ビジョン】(自校の将来像) ・活気のある温かい学校 ・自らかかわり、伸びようと努力する子どものいる学校 ・教育公務員としての自覚と意欲をもち、協働して本校教育を創造する教職員のいる学校
--------	--	------	--

評価計画							自己評価				学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値 10月	達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
確かな学力	1	自ら学ぶ態度の育成と学力の向上	基礎・基本の学力の定着・向上 表現力の向上	○主体的にかかわりあって学ぶ学習活動の実践 ○表現力を育成する学習活動の実践研究	・単元末テストの思考、判断、表現項目の正答率70%以上の児童の割合【80%以上】 ・全国学力学習状況調査、NRT学力検査【全国平均以上】	80%	単元末テスト 80.6% NRT学力検査 全国学力学習状況調査達成率100%	単元末テスト 101% NRT学力検査 全国学力学習状況調査達成率125%	3	・単元末テストの正答率70%以上の児童は、国語92.5%、算数68.7%であった。算数の表現力に課題がある。知識技能の定着にとどまらず、表現させる経験を積ませる必要がある。 ・2～5年生対象のNRT学力の結果、国語・算数ともに全国平均値を上回った。6年生対象の全国学力学習状況調査も、国語・算数ともに全国平均値を上回り、県と市の平均も上回ることが分かった。	A	・全国学力学習状況調査の結果については、素晴らしい成果である。 ・算数科における表現力育成については、知識技能面のみではなく、自分の言葉で考え方を表現する場を大切にしていることが分かった。	・表現力育成のために、授業の中で、自分や友達の考えを図や式に表したり、ペアやグループで交流したりする時間を意図的に設ける。 ・児童の課題を分析し、全職員で把握して指導にあたる。
				○ICTの効果的な活用の推進	・情報活用に関する児童アンケートの肯定的評価【80%以上】	80%	82%	103%	3	・映像編集、ファイル保存技術及び情報収集に関する項目では、概ね80%を大きく上回り、低学年でも85%以上が肯定的回答であった。タイピング速度の項目では、個人差が大きく、80%を下回った。 ・ICT活用素地の育成をめざして、第4学年以上で市内タイピング大会へ2回参加し、チャレンジタイム等でタイピング技能向上を図った。2回目の結果は1回目と比較して合格者率が21.6%上昇した。	A	・ICT能力向上のための取組は素晴らしい。今後必要な力であるので、重点的に取り組んでいただきたい。 ・コンピュータとアナログの両輪で学習を進めることができればよい。とくに、漢字の書き順や鉛筆等の持ち方などについては身につけていただきたい。	・教員の指導力向上を図るため、ICT研修を定期的に行い、児童へ還元できるようにする。 ・第3回タイピング大会に向けて、継続的にタイピング練習や授業での取組を進めていく。
豊かな心	2	社会生活を円滑に進めている資質や能力の向上	自己指導能力の育成 向上 自己肯定感の向上	○自分や友達の良さに気づき、自己肯定感を味わう活動の推進	・児童アンケート「自分の良さが認められている」と感じている児童の割合【80%以上】 ・教職員アンケート「児童に思いやりの心や多様な他者との協働する力がついている」と感じている教職員の割合【80%以上】	80%	79.6% 78.9%	99.5% 98.6%	2	・アンケートの結果から、自己肯定感の高い児童は79.6%と目標を少し下回る結果となった。友達からは認められていると感じている児童は多い。児童会で「いじめの運動」の一環として、友達のいいところについて書いてもらう活動を行った。	A	・自己肯定感と合わせて、コミュニケーション能力を上げることも大切である。継続した取り組みを期待する。	・学習発表会や板城ランニングチャレンジ等の行事を通して、自分の良さが感じられるような活動を仕組んでいく。
				○学級の支持的風土を醸成し、学校満足度を向上させる活動の推進	・hyper-QUIにおける学級生活満足群の全校児童の割合。【80%以上】	80%	78.7%	98.3%	2	・校内でhyper-QUIの結果を基に、児童理解を図る研修を行った。児童がより主体的に行動できるような取組を仕組む必要がある。取組の1つとして、クラスで目標を立てて行う「長縄チャレンジ」など学級で団結して行える行事を計画し、学級の支持的風土を醸成させていく。	B	・さらに地域とつながる取組を期待する。地域の中で、子供たちが幸せに暮らすことができるような取組をコミュニティースクールの取組の中で推進していくことができたら考える。	・長縄チャレンジなどを通して、引き続きクラスで団結できる取組を行う。第1回の反省を生かしながら目標をたて、クラスのモチベーションが上がるようにする。
健やかな体	3	健やかな心身の育成	体力の向上 健康的な生活習慣の形成	○体育朝会(板城っ子ランニング・縄跳び・マッスル体操等)の充実 ○体を動かす場と機会を確保する。	・新体力テスト「50m走」の記録が伸びた児童の割合(4月・12月実施)【75%以上】	75%	—	—	—	※12月に実施します。	N	体力向上のためには短期間では困難である。今後、少しでも体力向上に向かうよう取組を工夫していただきたい。 ラジオ体操の指導をさらに充実させていただきたい。	
				○生活習慣の改善とメディアとの適切なかわり方に関する指導の充実	・「板城元気っ子デー」の全ての項目で8ポイント以上達成した児童の割合【90%以上】	90%	84.5%	93.9%	2	・実施時に学級担任から指導をして元気っ子デーを実施している。上半期に3回、実施したが、1回目より徐々に数値が下がっている。 ・生活習慣の定着していない児童が一定数おり、その児童の取組に対する意欲が低下していると考えられる。	A		
信頼される学校	4	家庭・地域とともに歩む学校づくり	家庭・地域との信頼関係の構築	○学校運営協議会との協働による地域の教育力の活用と地域への貢献	・地域と連携した教育活動【各学年1回以上】	90%	計画的に実施中	—	—	・各学年の地域と連携した教育活動については年間計画に沿って活動中である。今年度は地域からの声をいただき、関係施設や住民自治協議会関係の取組との連携を強化している。 ・地域のゲストティーチャーから学ぶ活動を積極的に取り入れている。 ・学校HPにおいてはほぼ毎日「学校日記」を更新し、情報発信に努めている。	A	・今後さらに地域に根差した取り組みが推進されることを期待する。とくに、高齢者等とのつながりを大切にしたい。	今年度は地域からの声をいただき、関係施設や住民自治協議会関係の取組との連携を強化している。 ・地域のゲストティーチャーから学ぶ活動を積極的に取り入れている。 ・学校HPにおいてはほぼ毎日「学校日記」を更新し、情報発信に努めている。
				○学校情報の積極的発信(CRMの効果的な活用)	・保護者アンケート「学校は教育活動の様子がわかりやすく伝えられている」における肯定的評価【90%以上】	90%	保護者アンケート 94%	104%	3				
			「働き方改革(業務改善)」の推進	○業務改善の推進による子供と向き合う時間の確保(日課表の見直し、教職員の協働体制の確立)と時間外在校時間等勤務の削減(年間行事の見直し等)	・定時退庁推進日における、18:30消灯・施錠【80%以上】 ・教職員意識調査「本校は、働きやすい職場である」項目の肯定的評価【80%以上】	80%	定時退校推進 82% 働きやすい職場 91%	103% 114%	3 4	・定時退庁推進日における18:30消灯・施錠については、82%の達成率であった。各主任等を中心とした声かけもあり、昨年度より全体として定時退校が意識づいてきている。 ・教職員アンケートでは「働きやすい職場」との回答が91%であり、目標値を大きく上回り、達成した。	A	・現在の取組を、引き続き継続していただきたい。	・今後も退校推進時刻の30分前の施錠を心がけ、主任等を中心に声かけを推進する。週に一度の推進日には厳守できるようにする。 ・引き続き教職員の協働体制の確立を図り、各分掌における仕事の担当のバランスを取るようになる。

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価
4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成
2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回っ

■学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)
A...とても適切である B...概ね適切である
C...あまり適切でない D...全く適切でない
(N...判定できない)